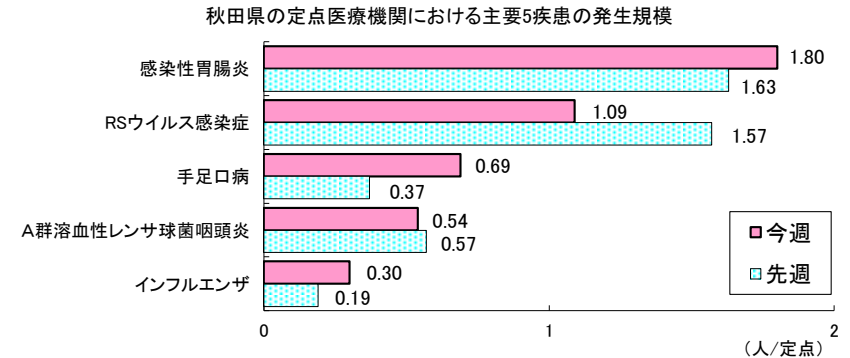




【第42週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、能代、由利本荘で増加、秋田中央、横手、湯沢で同規模、大館、大仙で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で31%減少しています。保健所別では、北秋田、秋田中央で増加、由利本荘で同規模、秋田市、大館、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で1.9倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、大館、横手で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減
RSウイルス感染症	1.57	1.09	↘	1.57	1.29	↘	5.75	3.00	↘	1.00	2.50	↗				0.25	1.00	↗	0.75	0.75		0.75	0.50	↘	1.67	0.67	↘	1.75	0.25	↘
インフルエンザ	0.19	0.30	↗	0.45	0.91	↗		0.29	↗							0.67	0.33	↘	0.17	0.17			0.14	↗						
咽頭結膜熱		0.14	↗		0.14	↗					0.50	↗					0.50	↗					0.25	↗						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.57	0.54	↘	0.57	0.86	↗										1.00	1.50	↗	0.25		↘	2.00	0.75	↘		0.33	↗	0.75	0.75	
感染性胃腸炎	1.63	1.80	↗	2.29	2.86	↗	2.00	1.25	↘	0.50	1.00	↗	2.67	3.33	↗	1.75	1.75			0.75	↗	1.00	0.75	↘	1.67	1.67		2.00	2.00	
水痘	0.06	0.14	↗	0.29	0.29			0.25	↘					0.67	↗															
手足口病	0.37	0.69	↗	0.71	1.00	↗	0.75		↘							1.00	2.25	↗		0.25	↗		1.25	↗	0.33		↘		0.50	↗
伝染性紅斑	0.03	0.06	↗	0.14	0.14												0.25	↗												
突発性発しん	0.29	0.09	↘	0.57	0.14	↘		0.25	↗				0.67		↘				0.25	0.25					1.00		↘			
ヘルパンギーナ	0.11	0.06	↘					0.25	↗	0.50		↘							0.75		↘								0.25	↗
流行性耳下腺炎		0.03	↗																			0.25	↗							
川崎病	0.03	0.03																		0.25	↗				0.33		↘			
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.67					*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.63	0.63			1.00	↗				1.00	1.00					*	*		4.00	2.00	↘		1.00	↗						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0.13	↗													*	*											1.00	↗	
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・五類感染症のカルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症が大館保健所管内から1人、ジアルジア症が大仙保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が大館保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から3人、秋田中央保健所管内から1人、北秋田保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-41週 (全国, 秋田), 42週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-41週 (全国, 秋田), 42週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

トピック

<長引く咳「マイコプラズマ肺炎」にご注意ください>

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマ・ニューモニエという病原体が原因の肺炎です。患者は通年で発生しますが、例年秋から冬にかけて増加する傾向にあります(図)。42週現在、報告数の多かった過去2年と比較すると少ない状況ですが、マイコプラズマ肺炎は幼児期から小学生の子供が特に感染しやすく、保育園、幼稚園、小学校等において集団発生することがありますので、注意が必要です。

■症状

感染すると2~3週間の潜伏期間を経て、発熱、全身倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も長期(3~4週間)にわたって続くのが特徴で、この間も病原体が咳のしぶきの中に排出されます。中耳炎、心筋炎、髄膜炎、脳炎などを併発することもあります。長引く咳などの症状がある場合には医療機関を受診しましょう。

■予防

マイコプラズマ肺炎に対するワクチン(予防接種)はありません。主な感染経路は、患者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことによって感染する飛沫感染や接触感染のため、手洗い等の感染予防対策を心がけましょう。咳の症状がある場合は、マスクをするなどの「咳エチケット」を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。

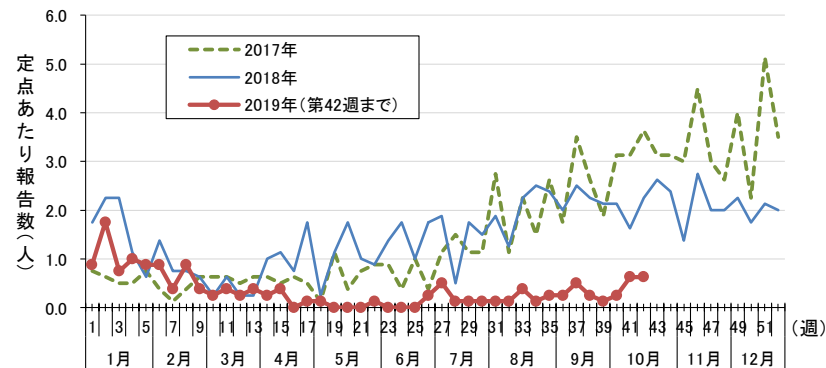


図 秋田県におけるマイコプラズマ肺炎の発生状況

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症の集団発生2件、かぜ様症状集団発生1件の報告がありました。

Table with columns: 事例の種類, 所在地, 施設名称, 報告日, 有症者数 (利用者, 職員, 計), 把握期間, 症状. Details group outbreaks of RS virus and cold-like symptoms.



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		